



ビルに快適さと安心をつくれます。


**BA**  
Building Automation

安全で効率的な生産を実現します。



**AA**  
Advanced Automation

Life Automation



**LA**

暮らしを健やかに豊かにします。

Research & Development



**R&D**

持続可能な未来をつくれます。

アズビル株式会社 Azbil Corporation

〒100-6419 東京都千代田区丸の内2-7-3東京ビル  
Tel:03-6810-1026 recruit-ac@azbil.com  
<https://www.azbil.com/jp/recruit/freshers/index.html>



# 心地よい未来。

## グループ理念

私たちは、「人を中心としたオートメーション」で、  
人々の「安心、快適、達成感」を実現するとともに、地球環境に貢献します。

アズビルは、「計測と制御」の技術をもとにした「人を中心としたオートメーション」で、ビルや工場や住まいなど、人が仕事をし生活する空間に心地よさをつくります。それは安全がもたらす安心感、気持ち良く活動できる快適さ、それぞれの目的を遂げる達成感を実現するものです。1906年の創業から山武、そしてアズビルが100年以上にわたって追究してきたオートメーションは、まだまだ奥深く、大きな広がりがあります。機械を制御するという発想から、人の充足感をつくるという発想への転換が、その可能性を広げました。新たなオートメーション技術でもっと人々が生き活きとする世界を創造することがアズビルの使命です。そんな、新しい領域を開拓する意志、姿勢、思考をもった「自ら動く人」とともにアズビルはチャレンジを続けていきたいと思えます。

### 「自ら動く人」

自ら動く人は、高い感受性をもって全体を見通し、自らの意志で主体的に行動する人です。アズビルでは、当社に必要な人材像として特に3つの条件を掲げています。

- 仕事のプロとして、集団の一員として、チームワークで協働する
- 一流をめざす強い意欲を持ち、挑戦し続ける
- 高い志と倫理観をもち、国際感覚に優れている

都市

Building Automation

BA

どんなに高いビルでも

産業

Advanced Automation

AA

厳しい環境のプラントも

暮らし

Life Automation

LA

日だまりよりも快適に

技術  
開発

Research & Development

R&D

人と地球の未来のために



# 日本のオートメーションの先駆けとして アズビルの歩み、そしてこれから。

## ■受け継がれる創業精神「先進技術によって人間を苦役から解放する」

アズビルの前身である山武は、1906(明治39)年、創業者・山口武彦によって「欧米機械工具直輸入・山武商会」として産声をあげました。その後、米国ブラウン社(後のハネウェル社)の計器類の製造・販売を主業務とし、100年以上にわたってオートメーション一筋に歩んできました。オートメーションとは、ある機構や機器が、人の手を介することなく、自動的に制御、動作、連携することです。アズビルは「先進技術によって人間を苦役から解放する」という創業精神を脈々と受け継ぎ、計測と制御の技術を追究。日本のオートメーション企業の先駆けとして、ビル、工場やプラントなどの分野にオートメーションを提案し、社会とお客さまの安全性、各種業務効率を大幅に向上してきた歴史があります。

## ■人のしあわせをつくり出すための「人を中心としたオートメーション」

一世紀を越える歴史を経て、アズビルを取り巻く環境は大きく変化し、社会やお客さまからの期待も変化してきました。創業から100周年を迎えた2006年を機にアズビルは、「人を中心としたオートメーション」を標榜することを発表。それはオートメーションが単に「機械を制御する技術」であるという発想から、人へ喜びや充実感を与えることができる、人のしあわせをつくり出す技術にしたいという発想への転換です。人々の生活にもたらされる「安心」、心地よく暮らし活動できる「快適」、それぞれの目的が達成できたときに感じる「達成感」、そして長年にわたっての蓄積してきた省エネ技術による「地球環境への貢献」、この4つの価値を追究することを新しい企業理念とし、その実現に向け一丸となって邁進しています。

## ■主に都市、産業、暮らしという3つの市場で事業展開

現在、アズビルは、大きく3つの事業分野を展開しています。建物市場を対象としたビルディングオートメーション事業では、ビルディングオートメーション、セキュリティシステムからセンサ、コントローラ、バルブといった製品を開発。さらに販売、運営管理まで一貫して提供し安全、快適、効率の良い執務空間を創造し省エネルギーも実現します。工場やプラント市場を対象としたアドバンスオートメーション事業では、製造現場の様々な問題解決に向け、装置や設備の最適運用を支援する製品やソリューション、保守サービスを提供。安全で効率的な生産現場を実現すると共に、環境負荷低減にも貢献します。また、生活に密着した市場を対象としたライフオートメーション事業では、培った計測・制御・計量の技術を、ガス・水道などのライフライン、ライフサイエンス分野では、製薬・医療分野などで事業を展開しています。

## ■持続的成長へ向けた3つの基本方針と3つの事業領域

現在、アズビルは、様々なオートメーションニーズが重なり合う成長領域で、グループ全体のシナジーにより、国内事業、海外事業ともに活性化・伸長していくために、「技術・製品を基盤にソリューション展開で顧客・社会の長期パートナーへ」、「地域の拡大と質的な転換でグローバル展開」、「体質強化を継続的に実施できる学習する企業体への組織的な変革」という3つの基本方針を定め推進しています。これは持続的成長へ向けた道標であり、「生産および執務居住空間での次世代ソリューション」、「エネルギーマネジメントソリューション」、「安全・安心ソリューション」の3つを成長事業領域として、アズビルならではのソリューションで、新たなビジネスモデルを創造し、お客さまのイノベーションに現場で貢献します。



# BA Building Automation

安心、快適で省エネルギー。  
人がしあわせになるビル機能をコントロール。

■ビルディングオートメーションのパイオニアとして最適なソリューションを提供します。アズビルは、ビルディングオートメーション (BA/ビル設備の自動制御) のパイオニアとして、オフィスやデパート、ホテルなどにおいて、快適な空間をつくりあげ、省エネルギーや高い安全性、利便性を実現してきました。ビルディングオートメーションシステムからコントローラ、バルブ、センサまでのフルラインナップ及びセキュリティシステムまでも自社で開発、製造することで高機能、高品質を実現。計装設計から販売、エンジニアリング・施工、保守サービスをなど含めたトータルな技術を一貫した体制で提供するとともに、建物設備の運営管理や省エネルギーソリューションなど、独自の環境制御技術を活用した展開で、快適で効率の良い執務空間を創造し、環境負荷低減に貢献します。

■国内ニーズに応えつつ、グローバル化を推進します。アズビルのビルディングオートメーションは国内で50年以上取り組んできた実績があり、信頼性は抜群です。長年蓄積されたノウハウを活かしながら、省エネルギーを切り口とした環境問題にも積極的に取り組み、さらに新しい市場を開拓しています。また東京再開発やオリンピック開催による需要に備えた施工・エンジニアリング体制の強化、既設建物のライフサイクルに合わせた省エネルギー、省コストの運用を実現するソリューション提案など幅広いニーズに応えていきます。さらに海外市場ではアジアの新興国を中心に製品供給だけでなく、エンジニアリング、施工、サービス提供などアズビルならではのソリューションをグローバルに展開していきます。

*My name is Bill*

ビルの機能を首を長くして見守ります

## ビルディングオートメーション事業

**設定する**  
ユーザーズ  
オペレーション機器  
温度や湿度など利用者が望む室内環境を設定



デジタル設定器



**検知する**  
センサ・計測機器  
室内の温度や湿度を検知



室内形温湿度センサ

**守る**  
セキュリティシステム  
建物や室内への人の出入りを管理



非接触ICカードリーダー

**管理する**  
ビルディングオートメーション (BA) システム  
建物全体の室内環境やセキュリティ、各種設備、使用エネルギーの状態を監視・管理



大規模向け/中小規模向けビルディングオートメーションシステム



**調節する**  
バルブ/操作器  
建物を流れる冷温水や蒸気の流量を最適に調節



空調用バルブ

**制御する**  
調節器・コントローラ  
建物の各種設備・機器を最適な状態に制御



汎用コントローラ

**BA**  
Building Automation

日本の大規模建物向け空調制御分野における  
パイオニア

建物のライフサイクルに即した  
多彩なサービスメニュー

データの蓄積を基とした  
省エネソリューション

### 事業フィールド

- ・オフィスビル
- ・データセンター
- ・工場
- ・研究所
- ・病院
- ・医療・福祉施設
- ・商業施設
- ・学校
- ・ホテル・研修所
- ・駅・空港
- ・公的施設
- ・地域冷暖房 など

### 総合ビル管理

建物とアズビルのセンターを通信回線で結び、その状態を24時間365日遠隔監視・制御します。また同時に技術者による巡回点検、緊急対応を行います。



### ビルリニューアル

建物設備の劣化や用途の変化、社会的ニーズに対するプラン作成から施工・運営まで総合的に提案します。

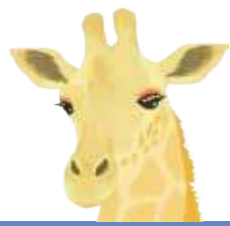


### 総合エネルギーマネジメント

ITを活用した建物設備の管理や省エネ診断・制御、資金調達、削減効果保証まで提案します。





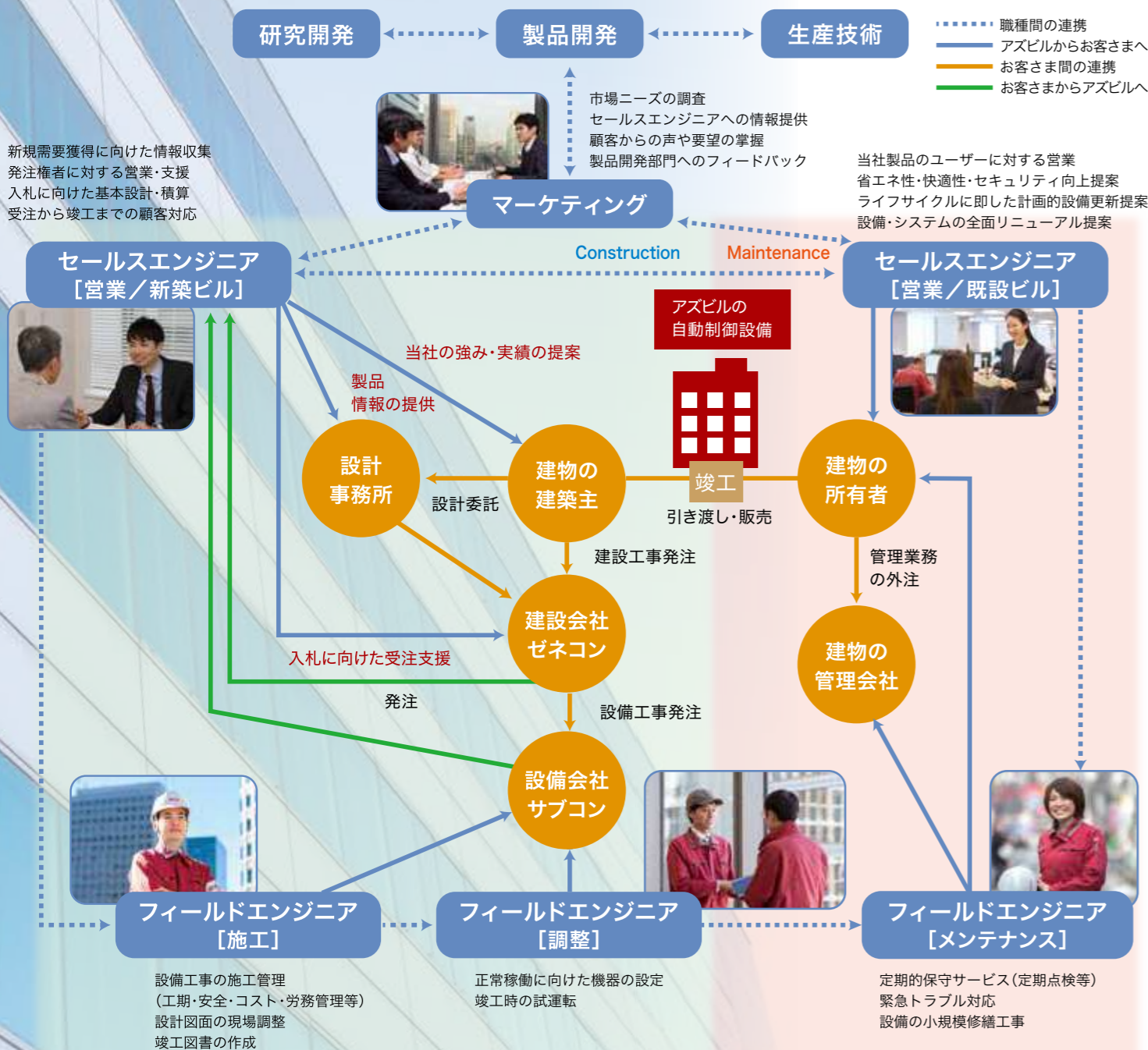


### ■ BA事業の仕事の流れ

都市やビルの計画・設計段階から竣工後の設備保全、リニューアルや省エネ提案まで、ライフサイクルに沿って、緻密な連携プレーが繰り返されています。

例えば、ビルの建築は、建築主(ディベロッパーなど)が出資し、設計事務所が計画・設計を、建設業者(ゼネコンなど)がその仕様に基づく建設工事を請け負います。建設工事が進展するに伴い、設備会社(サブコン)が空調・電気・水系設備工事などを担います。アズビルは設計段階から、ビルのオートメーション化のための計装設計、機器選定、省エ

ネ提案、さらにはお客さまのニーズに合わせた製品の開発まで行います。また、完成(竣工)後のビルに対してもビルの所有者や管理会社と連携し、導入されている機器のメンテナンスや設備、運用の最適化とそれに伴う省エネなどビルのライフサイクルに応じた各種ソリューションを提供します。



### セールスエンジニアの仕事



**営業/新築ビル** 実は、専門家としての知見がモノをいう技術職です。

工事の発注権を持つ施主、設計事務所、建築会社、設備会社に対し、アズビルの自動制御システムの優位性を訴求すべく、包括的な営業活動を行います。お客さまのニーズや課題を共有するとともに、密度の高いコミュニケーションで、省エネや快適さの実現に向けたビルディングオートメーションの専門家としての的確なプレゼンテーションが求められます。



**営業/既設ビル** お客さまが「真っ先」に相談相手として思い浮かぶ存在に。

ビルのオーナーや管理会社など、お客さまに対して、ビルのライフサイクルに沿った設備の更新や改修の営業活動を行います。省エネ・ローコスト運転の実現に向けた総合エネルギー管理サービスや、快適性を向上させる各種空調システム、さらには最新のセキュリティシステム等を提案します。

### フィールドエンジニアの仕事



**施工** 品質・人・モノ・カネをマネジメントする現場のリーダーです。

受注したビル新設工事案件で、計装工事の施工管理を担います。躯体の建設状況ならびに各種設備工事の進展に沿って、計装工事を安全かつ柔軟に実行します。工程管理はもとより、現場の職人の安全や労務、資材調達やコスト、そして品質等を全方位的にマネジメントします。



**調整** 最高の状態で引き渡す、チューンナップのプロです。

ビルの新築工事案件において、各種計装設備が設置された後、各種機器が要件通りに稼働し機能を発揮するか確認し、調整が必要であれば適切な処置を行います。製品の知識に対する詳細な知識と、経験に裏打ちされた現場対応力を必要とする業務で、アズビルの品質を守る最終アンカーとして大きな責任を背負っています。



**メンテナンス** 設備を常に最良のコンディションに保つ、ベストトレーナー。

竣工後、お客さまに常に最高の状態でビル・建物を運用していただくために製品の保守や改善、省エネ提案などを担当します。緊急時の対応はもちろん、安心、安全な運用に向け、定期的な点検、検査を実施するためのスケジュールを立案し実行します。不具合やより効率化、省エネ化が見込める箇所が見つかったときは修繕工事を行ったり、既存設備のグレードアップ提案も行います。

### マーケティングの仕事



答えは市場にあり。お客さまや現場の声をモノづくりに反映します。

ビルディングオートメーションの市場ニーズを把握し、各部門(開発など)に情報を共有・フィードバックする仕事です。市場ニーズやお客さまの満足度、セールスエンジニアやフィールドエンジニアからの声も吸い上げ、研究開発や製品開発、サービスのあり方に反映する一方で、製品の販促ツールの作成など効果的なPR活動を立案、実行し、現場の営業活動を支援します。



## 人と企業、そして環境が共存する 次代の生産現場を先取りします。

### ■モノづくりの自動化、生産性、安全性の向上に貢献します。

モノづくりの現場では様々な計測や制御が必要とされています。アズビルのアドバンスオートメーション(AA)ではセンサ、スイッチ、コントローラ、コントロールバルブ、監視・制御システムやアプリケーションソフトウェアなどの製品開発・製造・販売のほかエンジニアリングや保守サービスを提供。石油化学や鉄鋼といったプラントから電力・ガス・水道のライフラインや、自動車・食品・医薬品などの工場まで、様々な生産現場で安全な操業、生産性、品質の向上、環境負荷低減に貢献しています。

たとえば運転の自動化に加えて、安全運用のための異常を検知するセンサやその対応を支援するアプリケーション、設備監視システムなどが搭載されます。また高機能なセンサやコントローラ、システムをデジタルネットワークでつなぎ、製造ラインを高い効率で運用して歩留り向上を図るソリューションなど様々なニーズに応えています。

### ■国内成長領域と海外市場への事業に注力していきます。

アズビルのモノづくりは100年以上の歴史と実績があり、蓄積されたノウハウに先進技術を取り入れながら常に一步先のオートメーションを実現してきました。今後は化学や製薬プラントなどにおけるプロセスオートメーション分野でさらに高い安全と高効率の生産ラインを持続できる保守・メンテナンスサービスを展開し、ファクトリーオートメーション分野では高機能素材や電気電子・半導体、食品、薬品など先端市場で成長を見込み、ニーズの把握と事業拡大を図ります。

また海外市場では欧米、中国を含むアジア、中東地域で積極的な事業展開を進めていきます。2014年度からは中東にバルブ製造・メンテナンス拠点、アジア各地のバルブメンテナンスセンターが稼働し、高効率化、海外のお客さまへ向けたカスタマイズ製品の開発など、付加価値の高いソリューション事業を推進していきます。

*My name is Plant*

モノづくりの現場を力強く支えます

Advanced Automation

## アドバンスオートメーション事業

### 計測する プロセスセンサ

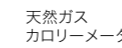
各種流量や圧力、液位、熱量などを計測



高機能発信器



スマート電磁流量計



天然ガスカロリメータ

### 守る 異常兆候予測

重大トラブルの未然防止を支援



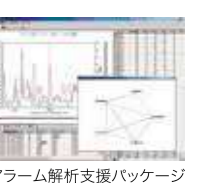
重要プロセス変数変動監視

### 監視する 監視・制御システム

製造プロセスを監視



協調オートメーションシステム



アラーム解析支援パッケージ

### 調節する コントロールバルブ

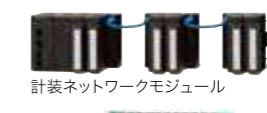
現場に流れる気体や液体などの流量を調節



調節弁/スマート・バルブ・ポジションナ

### 検出する センサ/スイッチ

計装ネットワークモジュール



計装ネットワークモジュール

確実な検出と高い信頼性で幅広い現場ニーズに対応



地震センサ

位置計測センサ

リミットスイッチ

光电スイッチ

アドバンスUVセンサ

### 制御する 調節計

稼働する装置や設備、機器などを最適に制御



プロセス・コントローラ

AA  
Advanced Automation

プラント・工場向け商品の開発・生産からメンテナンスまで自社で行う  
**計測・制御総合メーカー**

国内外でコントロールバルブのソリューション型ビジネスを展開

### プラント・工場向けサービス

安全操業できるように、迅速かつ確実なサービスを提供します。

- ・ライフサイクルサポート
- ・保全サポート
- ・操業サポート
- ・設備診断サポート



### エネルギーマネジメント

現場で使われるエア、蒸気、冷水、温水、電気、ガスなどのエネルギーを最適制御することで、省エネルギーを支援し、「見える化」や複雑な法規制などにも対応します。



### 事業フィールド

#### [プロセスオートメーション分野]

- ・石油化学・化学
- ・紙パルプ
- ・石油精製
- ・船舶など
- ・電力・ガス
- ・鉄鋼
- ・ゴミ処理・上下水道

#### [ハイブリッド/ファクトリーオートメーション分野]

- ・食品・包装機械
- ・工業炉・ボイラ
- ・薬品
- ・半導体製造装置
- ・自動車
- ・産業機械など
- ・電気電子・半導体







# AA

Advanced Automation

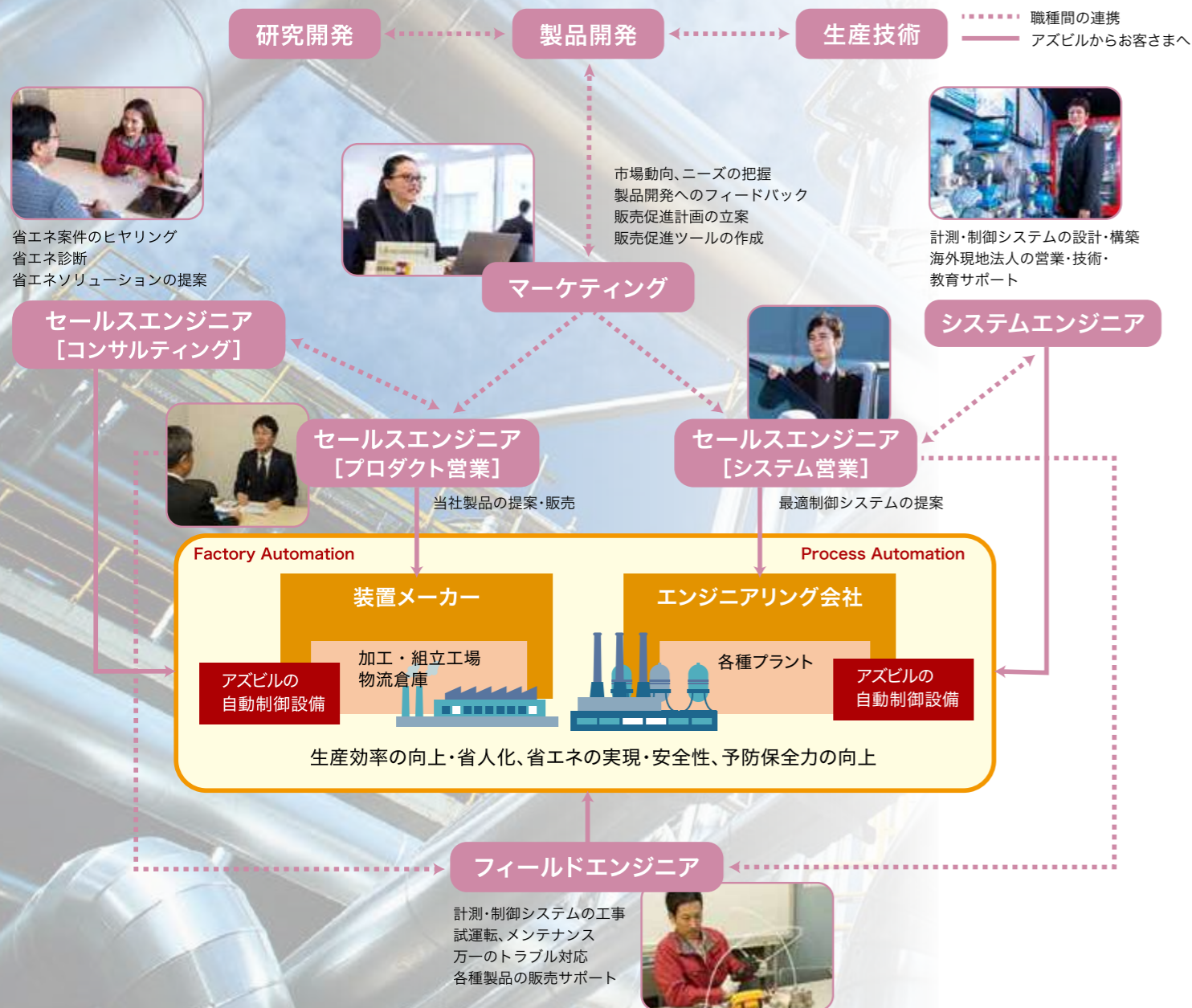


## AA事業の仕事の流れ

モノづくりの現場で、生産性と安全性、さらに品質を向上させるべく、先進製品の提案から設備の保守、さらには省エネソリューションを展開中です。

アドバンスオートメーション事業は、生産現場の種別に沿って大きく2つに分類できます。1つは一般に「プロセスオートメーション」と呼ばれる分野で、流体系の製品を扱うプラントを計測・制御するもの。もう1つは部品や固形の製品を組立加工したり梱包、分類するような工場や倉庫における自動制御分野で一般に「ファクトリーオートメーション」と呼ばれるものです。プラントや工場では、設計・構築は、エンジニアリ

ング会社などが行うためアズビルは必要とされる計測・制御機器やシステムをお客さまのご要望に合わせ開発、カスタマイズし提供します。また、このような生産効率の改善や保安力の向上を目的とする計測・制御以外に、最近注目されているのが、省エネ対策です。アズビルでは組織を横断する形でソリューション専門部隊を有し、各エリアの営業活動を強力にバックアップしています。



## セールスエンジニアの仕事



**コンサルティング** **まさに、改善・省エネ提案のプロフェッショナルです。**

アズビルが進めるソリューションの担い手として、海外を含むお客さまへ、省エネや快適性向上を実現するためのコンサルティングを行います。例えば省エネの提案では、担当のセールスエンジニアからの要請に応じ、まず省エネ診断を行い、投資効果を試算。アズビルがもつ技術やノウハウで、お客さまへどのような価値を提供できるのか、省エネの専門家として提案を行います。



**プロダクト営業** **アズビルブランド最新の高性能プロダクトを提供します。**

生産ラインを持つ装置メーカー各社に対して、新製品の案内や現行製品のリプレイス提案を行います。装置メーカーの多くは、組立・加工ラインに高度な生産設備を有しており、そこで使用されるアズビルの計測・制御機器は、高品質かつ高効率なモノづくりには必要不可欠です。単なる商品ベンダーという枠組を超え、計測・制御の専門家としてコンサルティングが求められます。



**システム営業** **「超高精度・高速制御」など、お客さまに合わせたシステムを提案します。**

国内外のプラントや工場など、生産設備の新設、更新等の情報を収集し、お客さまに応じた、自動制御システムを含めた各種提案を行います。電力や上水道、ガス、石油、製鉄、紙・パルプ、化学、さらには食品や飲料、薬品など流体系の製品を扱うことが多い、プラントオーナーが主な営業の対象です。また、プラントは基本的にエンジニアリング会社がその設備建設を担っているため、協力して営業活動を行うこともあります。

## システムエンジニアの仕事



**設備にベストフィットするオーダーメイドシステムをお作りします。**

プラントの計装機器を制御するシステムの設計・構築を担当します。受注前のヒヤリング、提案から受注後の仕様確定、システム構築、現場への実装、試運転、スタートアップまでの一連の作業に携わります。プラントの内容や規模は案件によって異なるため、ベースとなる監視・制御システムをカスタマイズしてお客さまに最適なシステムへと仕立て上げます。海外の現地法人のプロジェクトもサポートします。

## フィールドエンジニアの仕事



**設備の健康状態を常に最良に保つ専門医です。**

アズビル製品をご活用いただいているプラントや工場に対し、定期点検を実施し予防安全に務めます。また突発的に生じる機器の不調・不具合発生にも迅速に対応します。工場の生産性に影響を及ぼすことのないよう、担当案件のシステム全容や稼働特性等を把握し、リスクを最小限に止めるよう継続的な対応が求められます。まさにプラントのドクターです。

## マーケティングの仕事



**次に売れる製品を探り当て、デビューまでをプロデュースします。**

お客さまから発生する新規の需要等、市場の動向を先読みし、現行製品の機能拡張や新製品の企画立案から、販売促進までを担います。自ら市場調査をするほか、セールスエンジニアやお客さまの声も聞きながら、「売れる製品」「売れるサービス」を企画します。市場投入までのリードタイム次第では、リソースを外部に求める場合もあり、プロジェクトマネジメント能力も試される仕事です。



# Life Automation



*My name is House*

暮らしのやすらぎをつくります

人々の暮らしをもっと豊かに快適に。  
培った技術を応用、展開しています。

■計測・制御の技術を暮らしのなかに展開しています。

アズビルが考える「人を中心としたオートメーション」には、毎日の生活をよりよいものにするための役割と責任もあります。普段あまり意識されないかも知れませんが、暮らしの中にも様々な計測・制御・計量の技術が使われています。建物・工場・プラントの領域で100年以上にわたり培ってきたアズビルの技術、サービスは、ガスや水道といったライフライン、家庭の空調システム、医療品をつくるための製造装置、環境システムなどインフラへと活用され、安心、快適、豊かな暮らしを支えています。

■複数市場へ独自のアプローチを図っています。

LA事業は住宅用全館空調システム(アズビル株式会社)、ガス・水道メータ(アズビル金門株式会社)、ライフサイエンスエンジニアリング(アズビルテルスター有限会社)といった複数の分野で構成されています。住宅用空調システムの基盤となっているのが、100年を超える歴史の中で培われた、計測と制御、省エネルギー、空調のノウハウです。しかも単に全館空調システムのみを販売するのではなく、お客さまの暮らしの課題解決にはじまり、設計、施工、アフターサービスに至るまで提供。

加えてアズビルでは、『空気と暮らしの研究所』と称し、お家の空気暮らしをより快適・健康・安全・安心なものにするための調査や研究を行っています。空気と暮らしの研究所の本部である双子のお家・azbilハウスでは住宅2棟のうち一方を全館空調システム「きくばり™」、もう一方を複数のルームエアコンで空調することで、室内の空気環境(温湿度、体感温度、空気のきれいさ、省エネルギー)に加え、ヒートショックや熱中症などの健康問題、家族の住まい方やライフスタイルなどについての調査までも行うことで、快適な暮らしの実現を支えています。

## ライフオートメーション事業

### 住宅用全館空調システム「きくばり™」

一年を通じて家中どこでも快適な温度環境を実現  
たった一台の空調システムで冷房・暖房・空気清浄・換気・除湿の5つの機能をもつ全館空調システム「きくばり™」。24時間365日家全体を快適できれいな空気に。



**健康に暮らす**  
①室内機  
一台の室内機で家全体を空調するので、ヒートショックや熱中症の原因となる室内の温度差を軽減。さらに電子式エアクリナーで家中の空気をきれいにするので、花粉・PM2.5も除去できます。



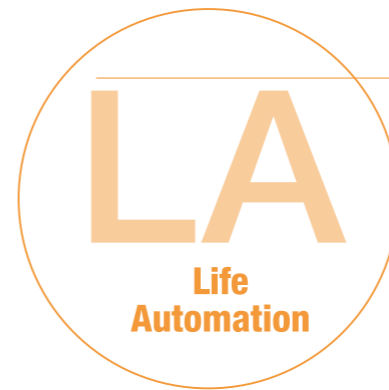
**省エネに暮らす**  
②リモートコントローラ  
ボタン一つで省エネ運転が可能。外出時や就寝時に簡単に節電ができます。



**快適に暮らす**  
③吹出し口  
お部屋には吹出し口があるだけ。設置場所は空気の循環を考えて設計され、ゆったりとした心地よい気流をつくりあげます。



全館空調の  
機器構成



計量法に基づき、  
安定的な交換需要が発生する  
ガス・水道メータ分野

製薬市場向け製造装置の開発、販売  
エンジニアリングから生産までを一貫して提供するライフサイエンス  
エンジニアリング(LSE)分野

24時間365日、どこにいても  
快適で健康的な住空間を  
安心とともにお届けする  
住宅用全館空調システム分野

#### 事業フィールド

[ガス・水道メータ分野]  
・都市ガス(一般向け/産業向け)  
・LPガス  
・水道(自治体)など

[ライフサイエンスエンジニアリング(LSE)分野]  
・製薬工場  
・EPCなど  
・研究所  
・病院・医療施設

[住宅用全館空調システム分野]  
・住宅メーカー  
・工務店など

### ライフサイエンス エンジニアリング(LSE)分野 (アズビルテルスター有限会社)

製薬関連施設や医療機関などに凍結乾燥装置や滅菌乾燥装置などの製造装置を開発、エンジニアリングから生産まで一貫して提供します。



凍結乾燥装置/バリアシステム

### 住宅用全館空調システム分野

一般住宅向けに全館空調システムを開発から生産、販売、施工、エンジニアリング、メンテナンスまで一貫して提供します。



空気と暮らしの研究所/ azbilハウス(モデルハウス)

### ガス・水道メータ分野 (アズビル金門株式会社)

一般向けに都市ガス・LPガスメータ、水道メータを提供するほか、警報装置や自動遮断弁といった安全保安機器、レギュレータなどの製品を産業向けにも提供します。



表示部回転式水道メータ



# R&D Research & Development



*My name is Earth*

地球と共存していくための技術を開発します

コアコンピテンスを進化、応用、展開し  
オートメーションの新しい価値を創造します。

### ■技術研究・商品開発方針

アズビルの研究開発はチャレンジ、リーダーシップ、パイオニアの3つの精神をキーワードにして世界に通用する先進技術を開発してきました。これからも幅広いお客さまを取り巻く様々な環境変化に対して、常に普遍的な価値を提供していくために社会動向、顧客課題動向、技術動向などを中長期的視点で捉え、5つの戦略技術領域を定めて技術開発と商品開発を進めています。

戦略技術領域	概要	要素技術
<b>人間・機械融合システム技術</b> 人と融合した知能化システム技術 (機械の知能化)	人が持つ微妙な感覚や認識する能力を「機械」に移植し、人と機械が融合して生産などの作業を行えるようにする技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生産ライン自動化技術</li> <li>●3次元物体認識技術</li> <li>●目視検査自動化技術</li> <li>●アクティブコンプライアンス制御(人の持つ手の柔らかさによる制御)技術</li> <li>●ダイレクト金型</li> <li>●成形CAE解析融合システム技術</li> <li>●蒸気エネルギー計測技術</li> </ul>
<b>自在計測制御技術</b> 広域な生産・居住環境で時間・場所を特定せずに計測制御する技術	今まで設置場所や時間、環境などの制約により計測が困難で制御出来なかった対象を自在に計測・制御する技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>●結露検出技術</li> <li>●光学技術による細菌のリアルタイム検出技術</li> <li>●次世代流体計測技術</li> <li>●高速・高精度位置計測技術</li> <li>●ワイヤレス技術</li> <li>●高感度流量計測技術</li> <li>●高精度微小圧力計測技術</li> </ul>
<b>わかる化プロセス情報技術</b> 複雑なプロセスの状態・課題をわかる化し、高度にシステムを制御・進化させる情報技術	「見える化」から「わかる化」へ進化させることで、複雑なプロセスの状態・課題を把握してシステムを高度に制御・進化させる情報処理技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(エネルギー)予測技術(非線形モデリング技術、カルマンフィルタ技術)</li> <li>●最適化技術(多次元データ補充技術、混合整数計画法)</li> <li>●調整技術(PID調整技術)</li> <li>●イベント解析(アラーム・操作解析)技術</li> <li>●ソフトセンサ(製品品質・機器効率リアルタイム計測)技術</li> <li>●フィールド機器・異常診断技術</li> <li>●データメーション(計測データによる人の能力のモデル化)</li> </ul>
<b>環境調和計測制御技術</b> 環境変化を学習して最適なエネルギー供給を行い、人間の営み(生産・居住環境)に環境負荷低減を調和させる制御技術	環境変化を学習して最適なエネルギー供給を行い、環境負荷低減を目指す計測・制御技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習型VWT(Variable Water Temperature:可変送水温度)制御技術</li> <li>●節電・省エネ用クラウド技術</li> <li>●汎用計測制御機能付き制御弁技術</li> <li>●ENEOPT™関連技術(わかる化技術:予測技術、最適化技術の省エネへの適用(アプリケーション化))</li> </ul>
<b>快適空間計測制御技術</b> 快適かつ高品質な空間を提供するための技術	人などの熱源の所在に応じて空間の温度分布を最適に制御し、快適かつ高品質な空間を提供する技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>●快適性計測技術</li> <li>●温度分布気流制御技術</li> <li>●省エネ快適空調制御(省エネ・快適の最適化)技術</li> <li>●ヒートショック防止空調制御(きくばり™)技術</li> </ul>

### ■開発体制

アズビルでは、事業のグローバル展開に合わせて、海外に開発拠点を設置し、資本参加した海外パートナー企業を加えた、日本・米国・欧州の3局体制で研究・商品開発を行っています。例えばアズビル北米R&Dでは、現地大学と産学連携の関係づくりを進めています。大学教授が来日し、社内の技術カンファレンスで最先端の技術動向について講演を行うなど積極的な人材交流も始まっています。こうした交流で学んでいるのは、技術ばかりではありません。その発想の豊かさや斬新さもその1つです。彼らとともに仕事をすることで、新たな視点が加わり、国際的なエンジニアに成長できることも、大きなメリットのひとつなのです。

国内研究開発の拠点としては藤沢テクノセンター(神奈川県)に研究施設を集約しています。全技術者を集結させ、開発機能を集中させることでコミュニケーションを促進し、事業の枠を超えたシナジー効果を高めることで「人を中心としたオートメーション」を様々なシーンで実現するための製品開発、研究開発に、日夜取り組んでいます。

### アズビル株式会社の研究開発施設



新技術棟



流量実験棟



先端技術実験棟



最先端センシング技術の研究開発

#### ■新技術棟

ここにはまさにアズビルの頭脳が集結。全館吹き抜けのコミュニケーションスペースやパーティションがなくフロアを一望できる執務スペースは、コミュニケーションを促進し、発想とシナジーの源となっています。

#### ■流量実験棟

ビルの空調やプラント制御に不可欠なバルブや流量計に関わる各種実験設備を備えた流量実験棟です。流量計の精度を検証するための大規模な水槽や、バルブ開発における居室内静音性向上のための無響室といった施設も設置しています。

#### ■先端技術実験棟

この実験棟は、ビルや研究所の環境実験を行うための施設です。また、マイクロフローセンサ、サファイアセンサなどの先端センサや材料分析や無線技術開発など各種設備を備えた多目的フロアを設けています。先端技術実験棟の5、6階には吹き抜けで世界的にもユニークな温熱環境実験設備を整備。シミュレーション技術では不十分な温湿度や気流の実験、様々な室内環境における居住者の快適性の検証を行うことができます。

### 研究開発の仕事



世界初の技術にも、果敢にチャレンジしています。

オートメーション技術が変化するなかで、近年はIoTやビッグデータ、AIなどの技術革新が進み、サイバーフィジカルシステムなどの新しい概念も生まれています。研究開発部門は、国内外の大学、研究機関との共同研究も含め、最先端のオートメーション技術を追究しています。アズビルならではの、世界に先駆けて取り組んでいる研究をはじめ、新しいテーマに果敢に挑戦する、積極的な姿勢が特長です。

### 製品開発の仕事



新しい技術への感度、新しい発想への柔軟性が必要です。

新製品の開発、既存製品の改良は、市場ニーズを把握し分析するマーケティングやお客さまと接するセールスエンジニアや他のエンジニア職からも、製品開発へ伝えられます。基本的に製品ごとに開発部門が分かれ、大きくは電気、機械、ソフトウェア分野の技術者がプロジェクトを組み共同作業をしながら開発業務に取り組みます。また製品開発には新技術の反映においては研究開発部門と、製品化にあたっては生産部門と密接に連携を図りながらプロジェクトを進めていきます。ここでも、アズビルの一貫体制が活かされています。

### 生産技術の仕事



コストも考えて、作りやすさと効率をトコトン追求。

要素技術開発からモノづくりのための技術開発までを担います。プロセス技術、設備化・自動化技術、生産ラインの構築などを検討しカタチにしていきます。製品開発部門や生産部門と連携して仕事が進められ、技術に対する高い知見、最先端技術情報に対するアンテナ、創意工夫と発想力などを発揮しながら、品質、効率、コストを追求しています。



# 「世界トップクラスのオートメーション企業」と評価される存在になることを目指しています。

## ■グローバルな飛躍に向けた土台づくりが順調に進展しています。

アズビルは、1990年代半ばより中国、東南アジア各国、北米、欧州、に現地法人を設立し、順次海外展開を図ってきました。2010年に中南米、2013年には中東にも拠点を設け、その規模は海外法人数にして50を超えるに至っています。グローバル展開においては、国内で先行しているソリューションを応用し、海外の省エネやメンテナンスといったソリューション案件の獲得に向けてリモートメンテナンスに係る拠点を拡充するなど、アズビルの強みを生かした戦略を具現化しています。また地域・製品別に開発・生産・物流体制をグローバルな視点で最適化し、現地での開発力を強化すると同時に、生産品目の拡大と迅速な製品供給体制の整備に取り組んでいます。こうした努力の結果、海外売上高比率は毎年更新し続けており、グローバル展開は名実ともにアズビルの成長戦略として位置付けられています。



## Strategy 1 地域の拡大

オートメーションの市場は、その国の経済成長の度合で求められるソリューションが異なります。したがって新興国においては、産業用施設の新設需要が顕著な傾向にあり、成熟市場の国内や欧米では、建替案件や改修工事における高機能化や既設建物における省エネルギー・省コスト運用ソリューションへの要請が大きなニーズになります。アズビルでは、グローバルな視点で地域最適化を図り、以前より展開している中国、東南アジア、北米、欧州に加え、サウジアラビア、ブラジルへと拠点を拡大を図っています。今後は新市場創出が期待されるメキシコやロシアなどを視野に入れながら、国内のお客さまの海外展開にも歩調を合わせ、さらなる地域の拡大を図っていきます。

またこれら地域ごとで異なるニーズに対応するためには、グローバル規模の一貫体制が必要です。このため、開発面ではアズビル北米R&D株式会社を立ち上げるなど、日・米・欧の3局で先端技術の動向と地域顧客のニーズを取り込み、ソリューション提案ができる体制を整備しました。また生産面では、日本の湘南工場をマザー工場としてリニューアルし、従来の中国・タイとの3局体制により、生産量の拡大と供給製品の多品目化に対応しています。



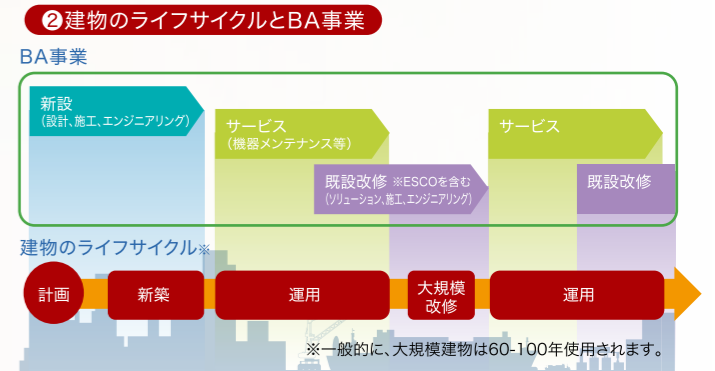
## Strategy 2 質的な転換

アズビルでは、単なる機器販売中心から建物のライフサイクルに応じたソリューションに軸足を移すことを「質的な転換」とし、「地域の拡大」とともにグローバル展開の軸としています。すでに国内では製品開発から生産、コンサルティング営業、EPC\*、保守サービスに至る**①一貫体制**をベースに、都市の再開発や、省エネルギー・省コスト運用に対するソリューションなど製品・技術・サービスをトータルに駆使する案件に対応しています。特にプラントやビルの**②ライフサイクル**で装置や設備の最適運用を支援するソリューションは、成熟市場で求められる快適で効率のよい執務・生産空間の創造と環境負荷低減を継続的に提供するもので、これにより、生涯顧客化を可能とし、安定的な収益基盤の確立に貢献することから、その強化を中期経営計画の基本方針に据えています。



こうしたアズビルならではの強みをグローバル市場でも発揮するため、リモートメンテナンスに係る**③遠隔監視センター**などのインフラ整備を進め、国内と同様な高品質サービスの実現に取り組んでいます。さらに製品供給とメンテナンスを一括して担えるソリューション型のバルブ事業を中国、東南アジア、中東、北米で展開しています。メンテナンスセンターを基点に効率的で迅速な保守サービスを提供することで、ソリューションの実践力を強化。中期経営計画に掲げる「技術・製品を基盤にソリューション展開で顧客・社会の長期パートナーへ」という命題を着実に実行しています。

\*EPC=Engineering, Procurement, Constructionの略で設計技術、調達、施工の総称





# 事業環境の変化に柔軟に対応できる 人材育成を推進しています。

アズビルは現在3つの基本方針を掲げています。

それは技術、製品を基盤にソリューション展開で「顧客・社会の長期パートナー」になること、

地域の拡大と質的な転換で「グローバル展開」を進めること、

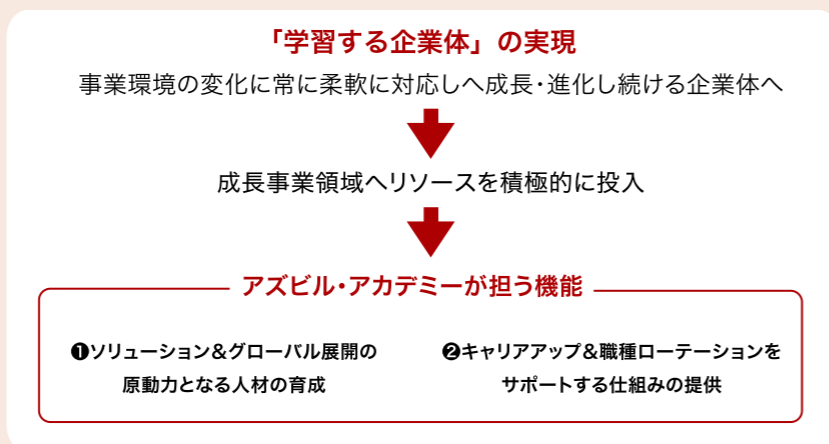
体質強化を継続的に実現できる「学習する企業体」へ変革することです。

これらの具現化のため2012年11月にグループ内の人材育成機関として設立したのが

「アズビル・アカデミー」です。



アズビル・アカデミー研修センター



## アズビルの人材育成

グループ理念「人を中心としたオートメーション」の達成のために

- I. アズビルグループ(aG)成長の源泉は人材であり、人材の成長なくしてアズビルグループの成長はない
- II. そのために社員力と組織力の最大化をめざして
  - 1.個人:自己の成長、能力開発に最大の責任をもつ
  - 2.上司:職場における部下の能力開発に責任をもつ
  - 3.会社:公平な機会提供を通じ個人と組織を支援する

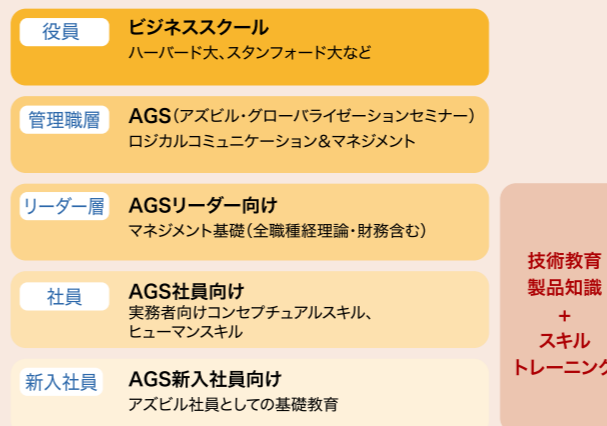
アズビルに必要な人材像

海外アズビルグループを含め、アズビルグループ全体で高い付加価値を生み出す企業体質となる。

- 仕事のプロとして、集団の一員として、チームワークで協働する
- 一流をめざす強い意欲を持ち、挑戦し続ける
- 高い志と倫理観をもち、国際感覚に優れている



### 教育体系



### 技術プロフェッショナルの位置づけ



グローバル教育を重視しているほか、技術者の技術・技能・知識を認定、称揚しさらなる研鑽意欲を促進するため技術プロフェッショナル制度を整備

## Education 1 教育

■年間約300講座、受講者数は延べ6万5000人。

アズビル・アカデミーには大きく「教育機能」と「キャリア・サポート機能」の2つの役割があります。教育機能は、職能別研修、階層別研修、指導・管理研修、全社研修、国際要員・リーダー育成、資格取得・補完プログラムなどの枠組みで社員教育を推進しています。従来、人事部門と事業部門の教育担当が行っていた教育をアズビル・アカデミーがグループ全体の教育を一元化して、統括しています。講座数は年間約300講座。年間受講者数は延べ6万5000人に及びます。研修を担当している講師は300人おり、そのうち社内講師は約8割で、キャリア豊かで専門技術にも造詣の深いリーダークラスが中心となり、情熱をもって後進の指導にあたっています。また講座は研修センターだけではなく、各地の支社、支店、海外現地法人で開かれるケースもあります。

■特徴のあるグローバル教育や技術者検定制度。

アズビルの教育体制で特に個性的なプログラムが2つあります。その1つが「グローバル教育プログラム」です。グループの将来を担う人材を育成するため、日本人社員、現地法人社員を一堂に集めて実施します。講義内容はコミュニケーションスキルや戦略立案の強化が中心で、グループのリーダーとしての必要な知識、考え方のプロセスを共有するとともに、参加者同士のネットワーク構築も目的としています。

もう1つの「技術プロフェッショナル検定制度」は、アズビル・アカデミーがグループ内で共通の基準を設定し、公正に審査し、技術者として最高レベルの技術、技能が認められた場合「技術プロフェッショナル」の称号を付与します。トップ技術者の引き上げは、当人はもちろん技術者の向上心を刺激し技術力の底上げ、技能の伝承にもつながります。今後、報奨制度の充実や厚生労働省による社内検定制度を取得することも目指しています。

## Career Support 2 キャリア・サポート

■入社から一人ひとりのキャリア形成をサポートします。

キャリア・サポート機能は、社員一人ひとりのキャリアをどのように形成していくか計画し、職種ローテーションと連動させた教育の実施や社員のキャリア相談などを行っています。新入社員に対しては、採用時からその社員をどう育てるのか念頭において配属を決め、数年後に戦略的に異動してキャリアを積むといったことを実施しているほか、これから取り組みたい仕事や歩みたいキャリアを上司と話し合う「キャリア面談」、グループ内の特定の職種やポストに人材を募り、上司の承認なしで応募できる「オープンチャレンジ」という社内公募制度も導入しています。また戦略的な職種、職場異動に伴う職種転換教育およびフォローアップもアズビル・アカデミーが担っています。

■社員の能力をデータベース化して効果的な教育機会を提供します。

キャリアと教育の連動という面では、等級や職種ごとに求められる知識や技能とそれを習得するための研修や教育の指標を用意しています。これによって、コミュニケーションやチームワーク、実行力、国際感覚などにおいて、それぞれのポジションで習得すべきスキル、知識が明確化され、面談などにおいて非常に役立っています。このほか社員の能力の可視化を図り、海外現地法人社員も含めて、グループ全体の職場異動歴、教育訓練記録、保有する公的資格などをデータベース化し、登録・運用をアズビル・アカデミーが行っています。アズビルの事業戦略と個々のキャリア形成をふまえながら、効果的な教育を提供できます。







活き活きと仕事ができ、能力を発揮できる  
職場環境の創造に取り組んでいます。



福利厚生



■ 適正なワークライフバランスを促進しています。

仕事と生活をバランス良く両立させていく、ワークライフバランスを実現するために社内にはワークライフバランス委員会を設置。週2回は「ゆとり創造の日」としてノー残業アイにしたり、働き方の制度面の見直しなども進めています。たとえば2014年度には「時間単位有給制度」を導入し、多様な働き方を実現。育児や介護をはじめ活用が広がっています。

■ 職場の活性化を図る表彰制度があります。

トップダウンによる業績面に対する表彰は従来からありましたが、2014年度から、自薦・他薦問わず、職場内の改善等をたたえあう「改善きり賞」を導入しました。ボトムアップによる制度でイントラネットに情報を公開するなど身近なものとして、これまで23,000件以上の表彰をし、職場の活性化や継続的な改善活動につなげています。

■ 女性の働きやすい職場環境を整備しています。

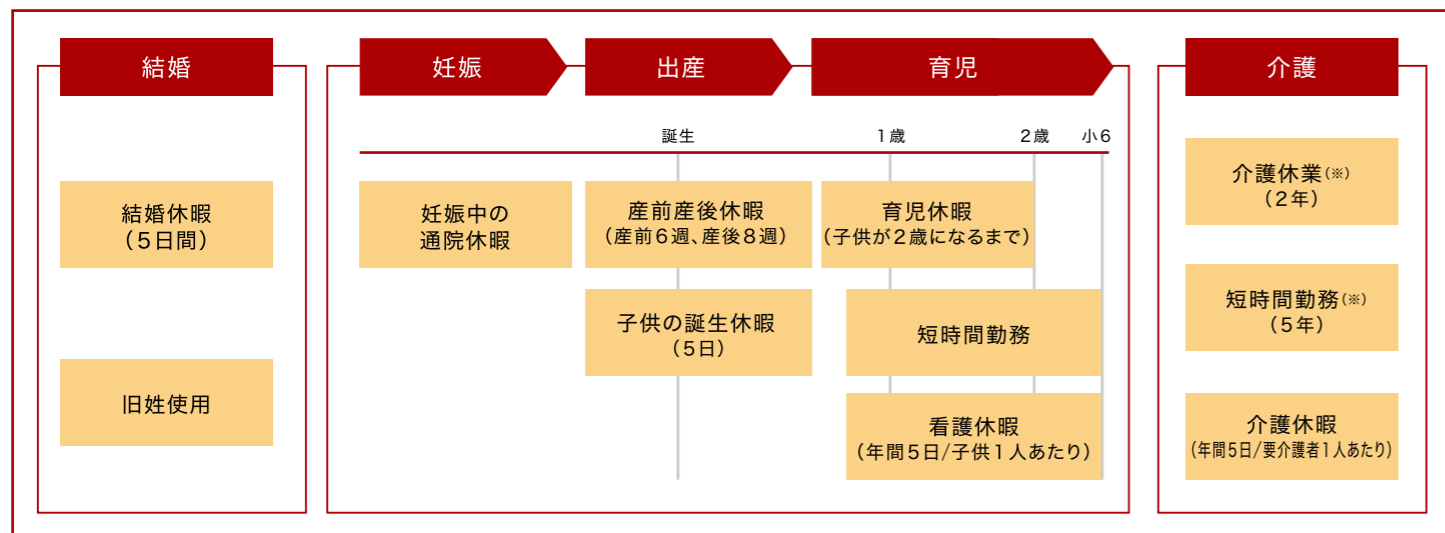
将来にわたって安心して働ける職場環境をつくるために、出産・育児休業制度の充実を図っており、多くの女性社員がこの制度を活用し復職しています。また、育児や介護をはじめライフスタイルに応じて、短時間勤務や始業、終業時間を変更できるシステムも導入。柔軟な働き方を実現しています。

■ 健康維持、健康増進をサポートしています。

社員の健康維持・向上のため、統括産業医制度や健康診断の結果を受けた生活習慣の改善に向けたサポートを行っています。またメンタル面でのケアを行う相談窓口も設置しています。



仕事と家庭の両立を支援する制度のご紹介



アズビルには社会からの要請に応えてきた歴史があります。  
しかし、さらに100年先を見据え生き抜くためには変革が必要です。  
その変革を推進していく方と出会いたいと思います。

「アズビルは誠実な会社である」とよく評されます。お客さまに対して。仕事に対して。社会に対して。未来に対して。その誠実さはどこからきているのでしょうか。創業者 山口武彦に次のようなエピソードがあります。第二次大戦当時、アズビル(当時は山武)は、米国ブラウン社と提携しており、毎年ロイヤリティを支払う契約になっていました。戦時中はそれが支払えなかったため、山口は横浜正金銀行の特別口座に積み立て、戦後、ロイヤリティを払いに行ったそうです。これには先方も大いに驚き、またさらなる信任を得たそうです。このような信頼関係があり、その後、吸収合併したハネウエル社と改めて資本提携を結ぶとき、当時は考えられなかった50対50という対等な立場で契約を締結することができたのです。

このようなエピソードは長い歴史のなかにいくつもあり誠実さはアズビルの人格として脈々と受け継がれ根づいているものなのです。100年という長い歴史は、それだけお客さまや社会から求められてきた証であり、それに真摯に応えてきた証です。これから先もアズビルが生き続けていくためには、誠実に、社会からの期待に応えなければなりません。

大切なのは老舗という看板に寄りかかることなく、老舗であり続けるために変わり続けることです。社会からの要請に応じて、機敏に反応して自ら変革していく。そうでないと企業は生き残れません。つまりアズビルの歩んだ歴史は変革の歴史でもあったのです。お客さまから、社会から、未来から、新しい期待が寄せられています。応えて行くためにアズビルはこれからもチャレンジしていきます。新しい事業フィールドを開拓し、技術を探求し、製品を開発し、オートメーションの可能性を広げていきます。グローバル化に向けた人材育成に務め、サービス力を高め、世界から求められる企業を目指します。老舗だから安泰だ、安定しているという思いではなく、未来も生き残っていくためにアズビルを変えていく、どんどんチャレンジしていく、「自ら動く人」。そういう方と出会いたと思っています。